

果樹病虫害発生予察調査結果（10／10調査分）  
（三条、加茂、田上地域）

10月10日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- 本年はハダニ類やニセナシサビダニの被害葉が多数確認されました。越冬密度（カイガラムシ類・シンクイムシ類・ハダニ類・ハマキムシ類・ニセナシサビダニ等）を下げるため、**粗皮削り**を行いましょう。
- 夏の猛暑により、カイガラムシ類の発生は少なくなりましたが、寄生の多い枝は剪定時に切除しましょう。切除できない幹や主枝の場合、高圧洗浄機やワイヤブラシでこすり落とす等で対応をお願いします。
- 上記対策は受粉樹にも行いましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- 一部で**花腐細菌病**り病枝が確認されています。次年度に持ち越さないよう、**黒変**や**かさぶた状**の病斑がある1年枝や短果枝は、剪定時に除去しましょう。
- 一部で**黒星病**り病葉が確認されています。収穫後防除と併せ、**落葉処理**も実施しましょう。
- **セイヨウナシ褐色斑点病**の発病葉は昨年より多くなっています。黒星病対策と同様に、落葉処理を実施して次年度の感染源を減らしましょう。また、落葉処理はごま色斑点病対策としても効果があります。

## (ブドウ)

調査地点ごとに100葉を調査しました。

- 今回調査で病虫害の発生は確認されませんでした。落葉後に剪定枝・巻きひげ・落葉等を園外へ持ち出し、病虫害の越冬量を減らしましょう。

## (モモ)

- 次年度のせん孔細菌病対策として、落葉期までに秋季防除を実施しましょう。

**※本年度の予察調査は、今回で終了**となります。

担当 : 中越支所 果樹共済係 TEL : 0258-36-8105 FAX : 0258-34-8020
---